

都市近郊における学習農園活動の推進

資源向上取組地区

みやけちくのうくうかんほぜんきょうぎかい おおかふまつばらし

三宅地区農空間保全協議会（大阪府松原市）

- 松原市三宅地区は大阪府松原市の北部にあり、大阪市に隣接した農業地帯である。都市近郊農業の立地を生かし、軟弱野菜やナス、トマトなどの野菜の生産が盛んである。
- 農業従事者の高齢化および担い手不足により、遊休農地が増加しつつある一方、地域内には高速道路が建設され、沿道開発が予想されるなど農地の改廃が懸念されている。
- 地域住民が一体となった地域農業の振興を目指すとともに、将来を担う子どもたちに、食糧生産や農空間保全等の大切さを認識してもらうため、遊休農地の一部を利用した学習農園事業に取り組んでいる。また、令和2年度より資源向上活動（施設の長寿命化）にも取り組む。

活動開始前の状況や課題

○土地改良区の資金を活用し約27haのほ場整備事業や水路のパイプライン化及び一筆給水整備を行ってきた。

○農業従事者の高齢化及び担い手不足により、遊休農地が増加するとともに、都市農地の景観形成にも支障をきたしていた。

○市街化の進展の中、都市農業を振興し、農地を地域全体で守る取り組みを進めることが喫緊の課題であった。

取組内容

○地域住民や関係団体が一体となった、地域農業の活性化や農地の保全、景観の形成に向けた活動を展開。

- ・草刈り、農道の補修、水路の浚渫
- ・コスモス、レンゲの種まき、花の苗植え

○松原市立三宅小学校において、遊休農地を利用した学習農園事業を展開。

- ・学習農園のゴミ拾い、田植え、稻刈り、収穫祭、リース作りなど

○資源向上活動（施設の長寿命化）により農道の舗装を実施



三宅小学校の学習農園活動（田植え）

【地区概要】

- ・取組面積 15ha（田15ha、畑0ha）
- ・資源量 水路 5.0km、農道 5.5km
- ・主な構成員 土地改良区、JA、小学校等
- ・交付金 約100万円（R02）
(農地維持：45万円
資源向上：約55万円)

取組の効果

○多面的機能支払の取り組みは、これまで地域の交流・共同活動に参加していなかった人が活動に参加するきっかけとなっており、地域の活性化や水路、農道、ため池の計画的な保全管理や農地の保全に繋がる。

○将来を担う子どもたちや、活動に関わった地域住民に対し、食糧生産の大切さや、農空間の保全について、意識付けることができる。

○農道の舗装により、営農の効率化が図られ、地区の農地の保全が見込まれる。

○地域住民による話し合いや、共同作業の重要性を認識するとともに、農地保全活動を通じ、農業振興や地域活性化の気運が上がる。